

# 鳥取すいそ学びうむ (とっとり水素学習館)

鳥取すいそ学びうむは、水素エネルギー実証と環境教育の拠点として、環境に優しく、快適でスマートな暮らしを支える仕組みを学ぶことができる体験型の学習施設です。再生可能エネルギーを活用した水素ステーション、スマートハウス及び燃料電池自動車を水素エネルギーの活用によって一体整備する全国初の取り組みです。



**鳥取すいそ学びうむ (とっとり水素学習館)**  
〒680-0932 鳥取市五反田町8-1  
Tel.080-1645-7129 (開館日のみ)  
原則、金・土・日曜日(祝日を除く)  
入館無料 9:30~16:30  
http://suisonabium.com/  
鳥取砂丘コナン空港より車で10分、JR鳥取駅より車で10分

# とっとり自然環境館

「とっとり次世代エネルギーパーク」の中核施設として、再生可能エネルギーや環境保全活動に関する情報発信、県内エネルギー施設の紹介をしています。また、テラスエナジー鳥取米子ソーラーパーク(中面・施設⑩)に隣接しており、そのガイダンス施設にもなっています。館内には再生可能エネルギーを体験できる設備やパネルを展示しているほか、エネルギー教室の開催など、子どもから大人まで、見て、触れて、学べる施設です。



**とっとり自然環境館**  
〒683-0104 米子市大崎中海岸ノ一3421番地9  
tel.0859-21-8533 fax.0859-21-8534  
年中無休(年末年始のみ休館)  
入館無料 10:00~17:00  
http://www.eco-tottori.com/kankyokan  
車/JR米子駅から約12分、米子ICから約25分、米子鬼太郎空港から約10分  
バス/日ノ丸バス、内浜線下段津行、大崎中1区バス停下車徒歩約15分



# 小さな自然のチカラも、集まれば大きなエネルギーに いろいろあるよ!「再生可能エネルギー」



**太陽光発電**  
太陽の光エネルギーを太陽電池で電気に換えます。  
メリット ○比較的管理が容易。  
○屋根等広さが限られた場所でも設置可能。  
課題 ●天候により発電出力が左右される。  
●夜間は発電できない。



**風力発電**  
風の方で風車を回し、その回転運動を発電機に伝えて電気を起こします。  
メリット ○大規模に開発した場合、発電コストが火力、水力並に抑えられる。  
○風さえあれば、昼夜を問わず発電できる。  
課題 ●風況により発電出力が左右される。



**水力発電**  
ダムや水路などの高低差を利用した、水を落下させるエネルギーで発電します。  
メリット ○安定した発電が可能。  
課題 ●中小規模設備は相対的に発電経費がかかる。  
●農業用水路や河川の水利権の調整が必要。



**地熱発電**  
地下に蓄えられた地熱エネルギーを蒸気や熱水などで取り出し、タービンを回して発電します。  
メリット ○安定した出力で、大規模開発可能。  
○昼夜を問わず24時間稼働できる。  
課題 ●開発の期間が長く、費用も高額。  
●温泉施設等地元との調整が必要。



**バイオマス発電**  
建築廃材、農業残渣、食物廃棄物などの生物資源(バイオマス)を使って電気を発生させます。  
メリット ○資源を有効活用し、廃棄物を削減。  
○天候などに左右されず発電できる。  
課題 ●材料を安定供給する仕組みが必要。  
●原料の収集、運搬、管理の費用がかかる。



太陽熱、バイオマス熱、雪氷熱、地中熱、温度差熱、バイオ燃料などの再生可能エネルギー熱利用も実用化されています。

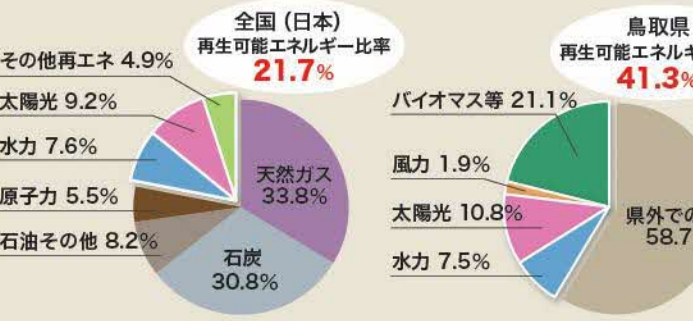
# 鳥取県の再生可能エネルギー導入推進の取り組み

**鳥取県の環境政策**  
鳥取県環境の保全及び創造に関する基本条例 (H8年度制定) → 第2次鳥取県環境基本計画 (H23年度制定) → 第2期とっとり環境イニシアティブプラン (H27年度制定)

**令和新时代とっとり環境イニシアティブプラン (R2年3月制定、R4年3月改定)**  
【構成】  
①循環型社会の構築 ②生活環境の保全  
③脱炭素社会の実現 ④環境活動の協働  
⑤自然・生物との共生 (実行計画) 具体的な施策・目標

# 再生可能エネルギーの導入状況

◆全国での再生可能エネルギーによる発電の割合が21.7%(R4年度)に対して、鳥取県では41.3%(R4年度)と高い。



※1 2030(R12)年度の国の目標再エネ36~38%(原力22~20%)  
※2 他: 中国の再エネ比率(R3年度) 独39.6%、英39.6%、西46.3%、伊40.3%、仏21.9%、米20.1%、加67.2、中27.7

# エネルギーシフトの率別的な取り組み 削減状況と目標値

**温室効果ガスの総排出量 (森林によるCO2吸収量を差し引いたもの)**  
2019(H31)年度 2013年度比18%減 (3,871千トン) → 2030(R12)年度 2013年度比60%減 (1,870千トン)

**需要電力における再生可能エネルギー比率**  
2022(R4)年度 41.3% → 2030(R12)年度 60.0%

# 大人も子どもも「再生可能エネルギー」を楽しく学ぼう!



環境学習・企業研修におすすめ!

# とっとり次世代エネルギーパーク



# 次世代エネルギーパークとは

子どもから大人まで再生可能エネルギーを中心としたエネルギーについて理解を深めるため、再生可能エネルギー利用施設やこれらを見学する工夫が整った地域を国(経済産業省)が認定する仕組みです。「とっとり次世代エネルギーパーク」は、平成25年9月に認定されています。



鳥取県マスコットキャラクター エコトリッピー